

## H. P. Report

## これからのブロードバンド (3)

これまでのテレビとブロードバンドによるテレビはどう違うのでしょうか。これまでのテレビは、いろいろなものが規定されていました。いろいろなコンテンツが広く配信することができるのですが、それは受け取り側の受像機があつてのことであり、そのデータ伝送速度、符号化の方式、技術基準、運用基準などが総務省や業界団体が集まって決めたものになります。技術が進んでもそう簡単に変更できるわけではありません。専用機器として販売されているテレビ受像機（なんか表現がおかしいですが）に対して情報を配信しようとするものですから当たり前といつてしまえばそうなのですが。これまでも、VHFだけだったところにUHFが増えた際にも、BS放送がはじまった際にもこれまでのテレビにアダプタ（今ではSTB（セットトップボックス）といったほうがいいかも）を取り付けて対応していました（カラーテレビだけは別ですが）。それに対して放送のデジタルかもアダプタをつけることによって対応はしていますが、デジタル放送が始まった当初はそのアダプタが高価であったためか3年で1000万世帯普及が目標であった物が大不振で見通しが厳しい状態になっています。BSデジタルがこの状態ですから、地上波のデジタル放送はどうなるのでしょうか。デジタル放送を行うためにはそれに対応した放送機材が必要となるばかりでなく、デジタル放送に対応した別のコンテンツを製作し放送する必要があります。これまでの放送内容と同じであれば別にデジタル放送に対応した機器を各家庭が購入する必要はないわけですから。たしかに、放送開始から3年後ぐらいにはデジタル放送のみとなるということで強制的に普及させることはできるでしょうが。

このような規制のいろいろあるこれまでのテレビ放送に対してブロードバンドによる放送はどうなるかという、技術的にも内容でもそれぞれが事業者任せられることになり、運用についても事業者が誰になるかも自由にできる状態です。別に営利目的でなくてもある程度の機材があればブロードバンドによるテレビ放送は誰にでも可能ということができるような状態となっています。そうすると家庭へ映像コンテンツを配信する手段はこれまでのような放送である必要はなく、これまで予定されていたようにアナログ地上波から衛星放送、衛星放送のデジタル化、地上波のデジタル化といった変遷を経る必要がなくなるわけです。これまでの放送を中心としたこれからのデジタル放送のシナリオは、受信機にHDDを内蔵し、放送電波を使って映像や音楽などをHDDに蓄積することによって利用しようとするものでしたが、ブロードバンドが定額常時接続となったことにより、放送を使わなくても受信機側のHDDに各種コンテンツを書き込めるようになり、さらに自分のところのHDDに書き込まなくてもネットワークにあるサーバに蓄積することによってほぼ同様の使い方ができるようになっています。

これまで映像配信の手段といえば放送だったものが明らかに変わりつつあります。劇場から直接ブロードバンドで配信する。DVDソフトのコンテンツも提供する。このようなことはこれまではテレビ局などと共同で行うものであったものが、すべて製作者側の自由に行うことができるのがブロードバンドの魅力です。ブロードバンドといえばパソコンが中心であったものが、テレビにセットトップボックスをつけて対応できるようにも考えられています。これからのテレビがブロードバンドに傾斜してきています。（次回へ続く）

(情報誌トピックス)

○日経エレクトロニクス 11月5日号

特集 明日も技術者であるために

→雇用制度の大改革で終身雇用、年功序列が撤廃となり電子技術者としても明日のわが身がどうなるかわからない時代になりつつある。自分の仕事が明日突然なくならないように、今から準備するにはどうすればいいのか。

解説 次世代DVDの開発いよいよ最終局面に突入

→光ディスク関連の国際会議「ISOM2001」ではDVDの次世代光ディスクの低コスト化技術があふれた。さらに大容量となる次世代DVD。最初から低価格での登場が予想される。

○日経パソコン 11月12日号

特集 使える・役立つオンラインソフト

→インターネット上には使える、痒いところに手が届くようなソフトが無料で、有料でも非常に安く使える状態にある。しかし、あまりにも多すぎてどれが使えるのかわからない。使える、役立つオンラインソフトの見つけ方と利用の仕方は。

特集 Windows XP導入ガイド

→11月16日に発売となるWindows XP。2000、NT系のXPを98、Meに入れる場合の導入ガイド。これまでのアプリケーションが動かなくなる可能性もある。グレードアップ作業を行う際の準備や手順について解説。

レポート Outlook Expressをやめたい貴方へ

→Windowsに標準でついてくるOutlook、ウィルスの標的になったり不安もある。メールソフトを変更するにはどうすればよいか。有名メールソフトの解説とともに紹介。

○日経オープンシステム 11月号

特集 システムのコスト

→システムの構築コストは適切か。SEコストの人月計算のあいまいさ、工数見積の難しさ、技術の多様化、短期開発、インフラの巨大化など適切な応えは難しい。あいまいさを排除するために企業は対策をとり始めた。

活用 侵入検知システム (IDS)

→CodeRedやNimdaなどといった悪質なワームの侵入を検知するシステム (IDS)。セキュリティを強化するためには必要なシステムで、ネットワーク型とホスト型がある。

○日経ネットビジネス 11月10日号

特集 あなたは勝てる「人材」ですか

→不況の続くネット業界。将来に対してこれまでのキャリアが有効かどうか。転職ドキュメントを通して、これから必要とされるキャリアを探る。

○DOS/V magazine 12月1日号

特集 Windows XP極秘ファイルズ

→新OS、XPのこれまでのWindowsユーザの理解しにくい部分を解説し、導入に不安をなくそうとする特集。まず管理ツールによるシステム管理の方法から、ネットワークの活用、カスタマイズの秘技まで。

特集 省スペースP④マシンの研究

→各メーカーのP4マシンの解説から、書くマシンを5つのポイントでチェック。